

## 別紙3

### JFA 第14回全日本U-15女子フットサル選手権福岡県大会 ＜競技上の注意＞

#### 1 競技規則について

公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」という制定のフットサル競技規則」で実施する。  
尚、詳細については大会要項に依ることとする。

#### 2 ユニフォーム及び用具について

- (1) ユニフォームは、JFAユニフォーム規程に準じた正副2着（FP・GK共）を着用すること。
- (2) 背番号の内、1番はGKのために用意されること。
- (3) GKがトラウザーズを着用する場合は、裾などにファスナーや危険物がついてないものを使用すること。
- (4) 試合で使用するユニフォームとビブスは、試合開始60分前に行うマッチコーディネーションミーティング（以下、MCM）にて決定します。チームの代表者は、FP・GKの正副2着（シャツ・ショーツ・ストッキング・トラウザーズ）と交代要員が着用するビブス2色を持参すること。MCMの時に持参していないユニフォームの着用は認めません（ユニフォーム提示は、実物のみとし、画像対応は認めません）。
- (5) 張り番号は四辺を確実に縫い付ける等適切に処理されているものに限り認めるが、四点止め、テープ止め等は一切認めません。張り番号はマッチコーディネーションミーティングで主審の許可を得ること。
- (6) 半袖のシャツの下にアンダーシャツを着用する場合は、シャツの袖の主たる色と同色でなければならぬ。パワープレーにおけるGKユニフォームにも適用されるので注意すること。
- (7) ストッキングはすね当てを完全に覆い、膝のところまで上げて着用すること。
- (8) シューズは、靴底の接地面が紺色もしくは白色あるいは無色透明のフットサル用シューズのみを使用可能とする。ただし、施設が許可した場合のみノンマーキングシューズの使用を認める。
- (9) 競技中にシャツの裾を出す又は出さないに関わらず、ユニフォームは安全で見苦しくなく且つマナーある着用を心がけること。
- (10) パワープレーのGKユニフォームは、その試合に登録されたGKユニフォームのシャツと同一のシャツを着用し、その競技者のFPユニフォームと同じ番号を付けること。
- (11) 交代要員を含め競技者の用具は、試合前にチェックします。試合中に禁止されている装身具を着用していた場合、その競技者は外すように注意されますので事前に確認すること。
- (12) 爪については、長さ等により競技者として出場できないと判断されることがあるので注意すること。
- (13) その他も含めて、JFAフットサル競技規則第4条「競技者の用具」を順守すること。

#### 3 ピッチへの入場について

両チームの登録選手は、試合開始5分前にオフィシャル席前に整列すること。審判団によってメンバー提出用紙及びJFA発行の選手証によって本人確認と、背番号及び用具のチェックをします。チェックにより不備がある場合は入場できません。また、そのために、競技開始時刻を遅らせることもないので注意すること。

#### 4 選手席・ベンチについて

- (1) 組合せ表の左側（ホーム）チームが、ピッチに向かって左側のベンチ使用で準備をすること。
- (2) ピッチ内（ベンチ、選手席を含む）には、その試合に登録された役員及び選手以外は入れません。
- (3) 接触や衝撃により人体等に影響が及ぶおそれのある選手及び役員のベンチ入りは認めません。
- (4) 競技中は監督及び役員、交代選手は必ずベンチに入り着席すること。
- (5) 競技中、交代選手はユニフォームのシャツの色と明らかに異なる色のビブスを着用すること。  
防寒用としてユニフォームの上にベンチコートやジャージーなどを着ている場合も同様とする。
- (6) テクニカルエリアは、自チームベンチの前にマーキングし設けます。その際、ベンチに入れる役員の中からその都度ただ1人の役員のみが立って競技者に戦術的指示を伝えることが出来ます。
- (7) 交代要員のウォーミングアップは、指定されたウォームアップエリアで行うこと。その際、ボールは使用できません。ウォームアップエリアでゲームを観戦、応援あるいは指示を与えるなどの行為をしない

こと。

- (8) テクニカルエリア内での電子通信機器等は、それが適切な機材であり競技者の保護や安全に直接関係する場合、あるいは戦術的またはコーチングの目的であり、役員の責任ある態度のもとで使用できることとする。
- (9) 競技中に必要があってテクニカルエリアから離れる交代要員またはチーム役員は、第 3 審判の許可を得ること。
- (10) タイムアウト終了のブザー後は円陣等を組まず、速やかにリスタート出来るよう心がけること。

## 5 その他

- (1) 競技中に負傷者が出た場合、チーム役員は主審の許可を得たもの最大2名までがピッチに入ることができます。ただし、負傷の程度を見て負傷者を運び出すためであり、ピッチ内での治療は許可されません。
- (2) 競技中、ピッチ内での飲水は認められません。飲水は、タイムアウト中か自由な交代の際ベンチの指定された場所で行うこと。その際、飲水は水のみとし容易にフロアに零れないスクイズボトル等（水筒はOK）に入れること。ペットボトルでの飲水は認められません。水筒をベンチに持ち込む場合は、椅子の下に置くなどして倒れた際にフロアに傷が付かないように管理すること。  
又、スポーツドリンク等の飲料は事前に指定された場所以外での摂取は認められません。
- (3) タイムアウト中の交代は認められません。タイムアウト終了のブザー後に正しい交代を行うこと。（インプレーになる前に交代できます。）
- (4) 1st ピリオド終了時の競技者がハーフタイムで交代する場合は 2nd ピリオド開始前に第3審判に通知すること。
- (5) 試合前、ハーフタイム中、試合後は周囲の人に対してリスペクトを心掛け、トラブル等を起こさないこと。